

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価		
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項	
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	中期	A	25	B	109	C	2	D	0		
		中期	A	11	B	79	C	1	D	0		
			(会津大学) 予定どおり実施した。									
			A	14	B	30	C	1	D	0		
(会津大学短期大学部) 予定どおり実施した。												
第1-1	教育に関する目標を達成するための措置	中期	A	12	B	69	C	2	D	0		
		中期	A	5	B	46	C	1	D	0		
			(会津大学) 予定どおり実施した。									
			A	7	B	23	C	1	D	0		
(会津大学短期大学部) 予定どおり実施した。												
第1-1 (1)	入学者受入方針及び入試制度に関する目標を達成するための措置	中期	A	3	B	4	C	0	D	0	II 【会津大学】 アドミッション・ポリシーに適合する学生を確保するため、入学センター会議等で、受験生に対するアンケート調査の結果等を検証・分析し、より効果的な学生募集の広報の策定や大学案内のリニューアルを行うとともに、積極的な高校訪問等を実施した。また、一般入試の一部を改正し、センター試験の5教科7科目による入試区分を導入したほか、試験会場として京都会場の新設などを行った結果、志願倍率は増加傾向となったことは評価できる。 【短期大学部】 広報及び入試業務を総合的に推進するため、平成29年度に入試・広報センターを設置し、これにより入試業務と広報業務の総合的な推進が可能となった。同センターが中心となって、入学者受入方針の公表・周知や、高校訪問、進学説明会、オープンキャンパスを実施したほか、LINEやテレビ・ラジオなどの各種広報媒体を活用して情報を県内外に発信し、広報活動の充実を図ることにより受験者数が回復し、優れた入学者を確保することができたことは評価できる。	
		中期	A	2	B	2	C	0	D	0		
			(会津大学) 学士課程における入学者選抜方法の改善、志願者確保のための体系的な広報活動、大学院課程における留学生や進学者の確保などについて、計画どおり実施した。									
			A	1	B	2	C	0	D	0		
(会津大学短期大学部) 新たに入試・広報センター（仮称）を設置し、入試業務と広報業務の総合的な推進が可能となったことから、計画どおり実施した。												
第1-1 (2)	教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	36	C	2	D	0		
		中期	A	0	B	26	C	1	D	0		
			(会津大学) 学士課程において、英語科目における先修条件の緩和や、短期留学科目の新設、スタディスキルセミナーの導入に係る検討を経て、専門科目の大幅な見直しや、平成28年度からの4学期制導入を決定した。また、大学院課程においては、学部の教育との更なる連続性を高めるため、学部の4学期制導入に先駆け、全ての学期で8週間の授業を行うことを決め、実施するなど、計画どおり実施した。									
			A	0	B	10	C	1	D	0		
(会津大学短期大学部) カリキュラムの点検・評価を継続的に実施し、時代や社会のニーズに的確に対応した効果的・効率的なカリキュラムの編成を進めるなど、計画通り達成できた。												

第1-1 (3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	中期	A	3	B	8	C	0	D	0	II 【会津大学】 学部や研究科等の意向に基づいた教員の適性な配置に努め、各年度とも国際公募により教員を採用するなど、質の高い教育を行える体制を整えたこと、また、学内のコンピュータ・ネットワークシステムについて、計画的なシステム更新と環境の整備を実施し、教育・研究で必要とされる環境の、安定した提供と拡充を図ったことは評価できる。 【短期大学部】 全科目で「学生による授業評価」を実施し、その結果を受けて担当教員は必要な改善案を作成し学生に回答するとともに、教授方法を工夫するなどの教員能力開発(FD)活動を通じて、教育の質の向上を図ったことは評価できる。	
		中期	A	1	B	4	C	0	D	0		
			(会津大学) 国際的視野による教員補充、教員の教育能力の更なる向上、学内のコンピュータ・ネットワークシステムの整備などについて、概ね計画どおり実施した。									
			A	2	B	4	C	0	D	0		
(会津大学短期大学部) 教職員の配置を全学的な視野に立って弾力的に行うことにより教育方法、教育内容等の改善・充実が実施され計画は概ね達成できた。												
第1-1 (4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	中期	A	6	B	21	C	0	D	0	II 【会津大学】 留学生の生活相談や日本人学生の留学相談対応や、南会津町中小屋集落との交流に留学生も参加するなど地域交流の推進のみならず、地域の国際交流にも貢献した。また、学生の経済的負担を軽減するため、授業料免除を実施するとともに、東日本大震災被災者に係る授業料減免を実施したことは評価できる。 【短期大学部】 大学内のWebサイトのキャリア支援センターのページを見直すことで、学生が必要とする進路活動に関する情報を今まで以上に活用しやすい環境を整えたことは評価できる。	
		中期	A	2	B	14	C	0	D	0		
			(会津大学) メンター・就学支援員・後援会・創明寮等と連携した学生支援、TA・SAIによる就学支援、学生の経済的負担軽減、国際交流活動の推進、就職指導などについて、概ね計画どおり実施した。									
			A	4	B	7	C	0	D	0		
(会津大学短期大学部) 学生の生活実態の把握、附属図書館の蔵書収容力の向上検討など、計画どおり実施した。												
第1-2	研究に関する目標を達成するための措置	中期	A	7	B	19	C	0	D	0		
		中期	A	4	B	16	C	0	D	0		
			(会津大学) 予定どおり実施した。									
			A	3	B	3	C	0	D	0		
(会津大学短期大学部) 予定どおり実施した。												
第1-2 (1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	中期	A	6	B	12	C	0	D	0	II 【会津大学】 先端情報科学研究センター(CAIST)での重点分野として5つのクラスターを立ち上げ、それぞれ研究活動について計画通り実施したほか、平成24年に採択を受けた「地域イノベーション戦略支援プログラム」による再生可能エネルギー分野における研究などについて、計画どおり実施した。 【短期大学部】 地域関連機関(産学民官)の協働・連携事業において、地域特性を踏まえたプロジェクトを推進し、また、平成27年度には「地域実践研究事業」を設け、大学が積極的に地域と係わる研究教育活動を推進したことは評価できる。	
		中期	A	4	B	12	C	0	D	0		
			(会津大学) 3部門における各種研究への取組、先端情報科学研究センター(CAIST)の5つのクラスターにおける研究活動、「地域イノベーション戦略支援プログラム」による再生可能エネルギー分野における研究などについて、計画どおり実施した。									
			A	2	B	0	C	0	D	0		
(会津大学短期大学部) 地域活性化センターにおいて「地域実践研究事業」を創設し、地域課題解決に向けた研究を行うなど、計画どおり実施した。												
第1-2 (2)	研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	7	C	0	D	0	II 【会津大学】 「産学イノベーションセンター(UBIC)」において教員等からの知的財産に関する相談に対応するなど研究シーズの特許化を推進したことは評価できる。 【短期大学部】 地域社会の多様なニーズを的確に把握し柔軟に対応する研究を支援するため、平成27年度に「地域実践研究事業」を創出したことで、地域との積極的な連携・協力を可能とし、地域貢献を行ったことは評価できる。	
		中期	A	0	B	4	C	0	D	0		
			(会津大学) 先端情報科学研究センターにおける共同研究、研究シーズと企業ニーズとのマッチング、知的財産の効率的な運用、競争的研究費における復興支援枠の創設などについて、計画どおり達成できた。									
			A	1	B	3	C	0	D	0		
(会津大学短期大学部) 会津大学と会津大学短期大学部の競争的研究費の統合を本格実施し、教員の多様な研究を推進するなど、計画どおり実施した。												

第1-3	地域貢献に関する目標を達成するための措置	中期	A	6	B	15	C	0	D	0			
		中期	A	2	B	12	C	0	D	0			
			(会津大学) 予定どおり実施した。										
			A	4	B	3	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) 予定どおり実施した。													
第1-3 (1)	地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置	中期	A	5	B	12	C	0	D	0	II		
		中期	A	2	B	9	C	0	D	0			
			(会津大学) 「会津大学地域貢献ポリシー」の策定及び運用、施設開放や出前講義などの地域貢献活動の実施、高大連携や大学間連携事業の推進などについて、計画通り実施した。										
			A	3	B	3	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) 地域貢献に関する基本方針に基づき、派遣講座・公開講座を実施したほか、「地域実践研究事業」で地域のニーズとシーズのマッチングに努め、積極的に地域と関わる研究教育活動を行うなど、計画どおり実施した。													
第1-3 (2)	地域産業の振興に関する具体的方策	中期	A	1	B	3	C	0	D	0	II		
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0			
			(会津大学) 地域産業への教員の知識・技術の提供、大学発ベンチャーとの各種連携、先端ICTラボ(LICTiA)のイノベーション創出の場としての提供などについて、計画どおり実施した。										
			A	1	B	0	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) 地域関連機関との協働・連携事業を中心に、地域特性を踏まえたプロジェクト研究を推進するなど、計画どおり実施した。													
第1-4	国際交流に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	6	C	0	D	0			
		中期	A	0	B	5	C	0	D	0			
			(会津大学) 予定どおり実施した。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) 予定どおり実施した。													
第1-4 (1)	国際交流の推進に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	6	C	0	D	0	II		
		中期	A	0	B	5	C	0	D	0			
			(会津大学) 国際交流協定の締結や締結校との単位互換に基づく学生の派遣、受入などの具体的な交流を引き続き行ったほか、短期留学とその前後の授業を英語科目「Global Experience Gateway」として単位化し、学生の留学を推進した。また、スーパーグローバル大学創生支援事業におけるシリコンバレー研修などの新規プログラムを実施するなど、計画どおり実施した。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) ミラノ国立大との学生交流を行うなど、計画どおり実施した。													
【会津大学】 グローバル推進本部を中心として積極的に国際交流活動を展開した結果、累計で20か国80の海外の大学や研究機関と協定を締結したほか、平成26年度に集中英語科目「Global Experience Gateway」を立ち上げ、短期留学とその前後の授業を一連として単位化し、留学しやすい環境づくりを行ったことは評価できる。													
【短期大学部】 平成25年度から26年度はタイの泰日工業大学とスカイプ交流を、平成26年度には福島県費負担中南米国留学生(専門分野)引受事業においてブラジルから2名の留学生を受け入れなどや、平成29年度には「ちいさな黄色い手紙プロジェクト 福島・愛知・ウクライナを結ぶ」を実施するなど、継続的に国際交流に取り組んだことは評価できる。													

第2	東日本大震災等の復興支援に関する目標を達成するためにとるべき措置	中期	A	2	B	12	C	0	D	0			
		中期	A	2	B	9	C	0	D	0			
			(会津大学) 予定どおり実施した。										
			A	0	B	3	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) 予定どおり実施した。													
第2-1	復興支援に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	8	C	0	D	0			
		中期	A	1	B	6	C	0	D	0			
			(会津大学) 予定どおり実施した。										
			A	0	B	2	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) 予定どおり実施した。													
第2-1 (1)	本県復興を担うICT人材等の育成	中期	A	0	B	4	C	0	D	0	II 【会津大学】 平成27年10月に復興支援センターの中核施設「先端ICTラボ(LICTiA)」が稼働し、ICTの活用による震災復興・地方創生に関する研究を推進したほか、県事業を活用し実践的手段を用いて地域の課題に取り組む人材の育成を行ったことは評価できる。 【短期大学部】 食品の放射線量測定を実習に取り入れたり、卒業研究において復興課題の解決につながるテーマに取り組むなど、復興課題の解決に取り組める人材の育成に努めたことは評価できる。		
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0			
			(会津大学) 「会津大学IT起業家育成事業」を実施するなど、計画どおり実施した。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) 卒業研究ゼミ、地域プロジェクト演習を通じて復興課題の解決に取り組める人材の育成に努めるなど、計画どおり実施した。													
第2-1 (2)	新たな社会づくりに向けた取組み	中期	A	1	B	1	C	0	D	0		II 【会津大学】 平成27年度から3か年事業として会津大学ロボットバレー創出推進事業を実施し、専門の研究チームを立ち上げ、県内企業との連携を図りながら研究・開発を推進したことにより、具体的な成果を生み出し、その成果が県に認められ、平成30年度以降も事業継続となったことは評価できる。 【短期大学部】 復興支援プロジェクトとして、大熊町の仮設住宅集会所において学生ボランティアによる学習支援を行うとともに、会津地域に避難している小・中学校の生徒、親子等を対象にキッズカレッジを実施したことは評価できる。	
		中期	A	1	B	0	C	0	D	0			
			(会津大学) ロボットバレー創出推進事業において、浜通り地方等のロボットメーカー、情報通信関連企業との連携によりロボットの研究開発を行うなど、計画どおり実施した。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) 復興支援プロジェクトや各地域との産官民学連携を通じ、地域産業の振興や過疎中山間地域の振興、地域のコミュニティの再生など、計画どおり実施した。													
第2-1 (3)	会津大学復興支援センターの円滑な運営体制の構築に向けた取組み	中期	A	0	B	3	C	0	D	0	II 【会津大学】 復興支援センターに専任の教員を配置するための体制作りに努め、平成27年度から専任教員を2名配置し、運営体制の強化を図ったことは評価できる。		
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0			
			(会津大学) 復興支援センターに専任の教員を2名配置したほか、新規に人材育成事業を実施するなど、計画どおり実施した。										
			A	0	B	0	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) -													

第2-2	復興支援のICT活用に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	3	C	0	D	0			
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0			
			(会津大学) 予定どおり実施した。										
			A	0	B	0	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部)													
第2-2 (1)	健康調査等に対するICTの観点からの支援	中期	A	0	B	1	C	0	D	0	II		
		中期	A	0	B	1	C	0	D	0			
			(会津大学) 福島県立医科大学等が行う県民健康調査において、県民が安全安心に任せられるデータの管理を行うため、システム開発や危機管理を想定したセキュリティ対策等について助言するなど、計画どおり実施した。										
			A	0	B	0	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) -													
第2-2 (2)	新たな産業創出に向けた取組み	中期	A	0	B	2	C	0	D	0	II		
		中期	A	0	B	2	C	0	D	0			
			(会津大学) 文部科学省補助事業「地域イノベーション戦略支援プログラム」として、スマートグリッド情報基盤の研究開発を行うなど、計画どおり実施した。										
			A	0	B	0	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) -													
第2-3	復興支援の連携・協力に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	1	C	0	D	0	II		
		中期	A	1	B	0	C	0	D	0			
			(会津大学) 予定どおり実施した。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) 予定どおり実施した。													
第3	管理運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	中期	A	9	B	65	C	1	D	0			
		中期	A	3	B	38	C	1	D	0			
			(会津大学) 予定どおり実施した。										
			A	6	B	27	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) 予定どおり実施した。													
第3-1	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	18	C	0	D	0			
		中期	A	0	B	11	C	0	D	0			
			(会津大学) 予定どおり実施した。										
			A	0	B	7	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) 予定どおり実施した。													

第3-1 (1)	組織運営の改善に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	12	C	0	D	0	II	【会津大学】 法人の採用方針に基づき、各年度ともに計画的に採用を行った結果、最終年度には事務局職員71名中27名が法人職員となった。採用した職員に対し、語学力の向上研修プログラムとして、平成26年度から職員英語クラスを開催し、英語力の向上を図ったことは評価できる。 【短期大学部】 平成26年度に「研究活動に係る不正防止規程」「公的研究費の取扱いに関する規程」を整備し周知を図っており、また、必要に応じ「教員発注マニュアル」等の見直しを行ったことは評価できる。		
		中期	A	0	B	8	C	0	D	0				
			(会津大学) 計画的に法人職員を採用したほか、職員の英語力向上を図るため職員英語クラスを実施するなど、計画どおり実施した。											
			A	0	B	4	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 教員発注等マニュアルの周知徹底を図るため、コンプライアンス研修を実施するなど、計画どおり達成した。														
第3-1 (2)	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	6	C	0	D	0	II	【会津大学】 部局長会議や教育研究審議会の出席者状況に応じて合同開催とするなど、会議運営の効率化を図った。また、平成26年度からiPadによる会議のペーパーレス化に取り組み、事務処理の軽減を図ったことは評価できる。 【短期大学部】 教授会等各種会議のメールによる実施や、学内Webポータルサイトを活用した情報共有と日常業務のペーパーレス化を推進し、事務の効率化を図ったことは評価できる。		
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0				
			(会津大学) 事務の効率的・合理的な執行に向けた事務局幹部職員による定例会議の開催やアウトソーシングの検討、会議の整理統合やペーパーレス化、学務システムの整備などについて、計画どおり実施した。											
			A	0	B	3	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 教員発注等マニュアルの周知徹底を図るため、コンプライアンス研修を実施するなど、計画どおり実施した。														
第3-2	財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	中期	A	3	B	7	C	0	D	0				
		中期	A	1	B	6	C	0	D	0				
			(会津大学) 予定どおり実施した。											
			A	2	B	1	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 予定どおり実施した。														
第3-2 (1)	外部研究資金等の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	中期	A	2	B	5	C	0	D	0	II	【会津大学】 外部の公募型資金募集情報の迅速な周知や案内、教員に対する申請書類作成のサポート等により外部資金申請に係る支援を推進した結果、公募型資金の申請数が目標数値(年間50件以上)を上回ったことは評価できる。 【短期大学部】 様々な公募型外部資金に関する情報を教員に随時提供したほか、科学研究費助成事業に係る説明会を開催し、研究申請に対する支援を行ったことは評価できる。		
		中期	A	1	B	4	C	0	D	0				
			(会津大学) 科学研究費補助金などの様々な公募型外部資金に関する情報を速やかにメールで通知するとともに、研究棟の専用掲示板により公募情報を案内した。また、各教員からの求めに応じて、書類作成等へのサポートなどの研究申請に対する支援を行い、計画を上回る公募型資金の申請を行った。計画どおり実施した。											
			A	1	B	1	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 公募型外部資金に関する情報を随時、教員に情報提供したほか、科学研究費助成事業に係る説明会を開催するなど、申請に対する支援を行い積極的な応募を促すなど行った。計画どおり実施した。														
第3-2 (2)	経費の抑制に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	2	C	0	D	0	II	【会津大学】 年度初めに環境方針に基づく具体的な取組事項を示し、さらに四半期毎のエネルギー使用量を調査・分析した結果と重点推進項目を周知等することにより、省エネルギー・省資源の啓発を行ったことは評価できる。 【短期大学部】 学内の節電意識が高まるよう「節電ニュース」の定期的なメール配信や節電状況グラフの掲示などによる節電状況の「見える化」を進めたほか、コンピュータシステム更新や空調機更新にあたり省電力の機器を導入した結果、設定した節電目標及びCO ₂ 排出削減目標を大きく上回ったことは評価できる。		
		中期	A	0	B	2	C	0	D	0				
			(会津大学) 単価高騰の影響等により経費の削減とはならなかったものの、環境方針及び環境目標に基づき、省エネルギー・省資源対策に取り組むとともに、取組状況を調査・分析し、改善を進め、目標値を大幅に上回る電力消費の抑制を達成するなど、計画どおり実施した。											
			A	1	B	0	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 「節電ニュース」をメール配信したことや、節電状況をグラフ化して掲示するなど、節電意識が高まるよう「見える化」に取り組んだ。目標を上回って達成できた。														

第3-3	自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	13	C	0	D	0			
		中期	A	0	B	7	C	0	D	0			
			(会津大学) 予定どおり実施した。										
			A	1	B	6	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) 予定どおり実施した。													
第3-3 (1)	評価の充実に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	7	C	0	D	0	II 【会津大学】 業務実績のとりまとめを通じ、主要な教育活動の把握、自己点検・評価を実施したほか、平成29年度に認証評価機関による第三者評価を受審し、「大学基準に適合している」との認定を受けたことは評価できる。 【短期大学部】 「学生による授業評価」のアンケートを実施し、教員に授業評価等の結果を示し、改善案等の回答を求めることで、授業形態、学習指導法等の見直しを促したほか、短期大学認証評価を受審し、「短期大学基準に適合している」との認定を受けたことは評価できる。		
		中期	A	0	B	4	C	0	D	0			
			(会津大学) 業務実績を取りまとめ、自己点検・評価を行ったほか、認証評価機関による評価実務の情報収集、認証評価機関による第三者評価などについて、計画どおり実施した。										
			A	1	B	3	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) 学生による授業評価を行い、授業内容等について必要な改善を行うなど、計画どおり実施した。													
第3-3 (2)	情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	6	C	0	D	0	II 【会津大学】 会津大学学術リポジトリ(データの保管場所)の構築運用について、教授会等で学内周知し、平成26年7月から運用を開始、博士論文や文化研究センター研究年報データ収集を実施し、リポジトリシステムで学外へ情報発信したことは評価できる。 【短期大学部】 学生による授業評価の結果概要、教員の各種コンクール等の受賞や研究成果、学生の卒業研究及び卒業作品、派遣講座の実施状況等をホームページに掲載するなど、大学内の情報を広範囲に広報したことは評価できる。		
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0			
			(会津大学) 大学公式ウェブサイトについて、志願者増を目指し、スマートフォン等での閲覧にも対応させるなどのリニューアルを実施するなど、計画どおり実施した。										
			A	0	B	3	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) ウェブサイトの内容を適時検証して充実に努めたほか、社会福祉学科では幼児教育学科の広報と学科の教育・研究の内容を地域に還元するための学科ホームページを立ち上げるなどした。計画どおり実施した。													
第3-4	その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	中期	A	5	B	27	C	1	D	0			
		中期	A	2	B	14	C	1	D	0			
			(会津大学) 予定どおり実施した。										
			A	3	B	13	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) 予定どおり実施した。													
第3-4 (1)	法令遵守に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	2	C	0	D	0	II 【会津大学】 「会津大学行動規範」を全教職員に年度当初に周知するとともに、新たに採用された教職員には行動規範に関する文書の個別配付や研修を実施するなどして、適宜注意喚起を行い、コンプライアンスの徹底を図ったことは評価できる。 【短期大学部】 教授会において、会津大学行動規範の遵守について周知し、服務規律の厳正な保持について、適宜注意喚起を行い、コンプライアンスの徹底を図ったことは評価できる。		
		中期	A	0	B	1	C	0	D	0			
			(会津大学) 定期的に行動規範の内容について周知を図るとともに、コンプライアンスの徹底を図るなど、計画どおり実施した。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) 行動規範に関する周知徹底や内部監査等を実施した。計画どおり達成した。													

第3-4 (2)	施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置	中期	A	3	B	10	C	0	D	0	II 【会津大学】 施設設備の改修・維持管理について、長期保全計画や施設の法定点検・定期点検の結果を踏まえた年次計画(施設修繕計画)に基づき、計画的かつ効率的に改修工事を実施し施設の改善を図ったことは評価できる。 【短期大学部】 建物の修繕、改修に当たり、ユニバーサルデザインに配慮した整備を進め、平成29年度には南棟に新たに多目的トイレを整備するなど、障がいのある学生等に配慮した改修工事を進められたことは評価できる。	
		中期	A	1	B	6	C	0	D	0		
			(会津大学) 施設・設備の点検、修理、更新を行うなど、計画どおり実施しており、計画どおり達成した。									
			A	2	B	4	C	0	D	0		
(会津大学短期大学部) 施設長期保全計画に基づき、変圧器の更新工事を行うなど、計画どおり達成した。												
第3-4 (3)	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	10	C	1	D	0	II 【会津大学】 学生の定期健康診断の全員受診に向け、メールや会議等で積極的な啓発を行ったが、受診率は6か年平均で78.4%程度にとどまっており、更なる取組が求められる。 【短期大学部】 毎年度、全学生及び全教職員を対象に消防訓練を実施したほか、大規模災害の発生やJアラートによる緊急情報が発信された場合に備えるため「災害対応マニュアル」を策定し、全学生・全教職員に配布、周知を行ったことは評価できる。	
		中期	A	0	B	5	C	1	D	0		
			(会津大学) 平成28年度からストレスチェックを始めるなど、教職員の健康保持のため、体制整備を行うなど、計画通り実施した。									
			A	1	B	5	C	0	D	0		
(会津大学短期大学部) 健康診断の受診の呼び掛けを行ったほか、消防防災訓練を実施した。計画どおり実施した。												
第3-4 (4)	情報通信基盤の整備・活用に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	5	C	0	D	0	II 【会津大学】 最新の情報技術を踏まえ、大学運営の基盤となるICT環境のあり方について調査や検討を行い、ICT環境を整備するために必要とされるコンピュータ・ネットワークシステムの更新やソフトウェアの整備を計画的に進めたことは評価できる。 【短期大学部】 学内をほぼすべてカバーできる無線LAN設備を整備し、また外部メールシステムとしてGmail(企業が提供しているメールサービスシステム)を導入し運用するなど、学生の利便性を向上させる環境を構築したことは評価できる。	
		中期	A	1	B	2	C	0	D	0		
			(会津大学) 最新の情報技術を踏まえてコンピュータネットワークシステムの更新やソフトウェアの整備を進めるなど実施した。計画どおり実施した。									
			A	0	B	3	C	0	D	0		
(会津大学短期大学部) 幼児教育学科の新設に伴う入試体制と学務システムを整備などを実施。計画どおり実施した。												